

## 第23回総合研究大学院大学長倉研究奨励賞募集案内

### 1 趣 旨

本学の初代学長長倉三郎氏の寄附金をもとに、本学の学生のうち特に優秀な学生の研究を奨励し、先導的な学問分野を開拓するために、総合研究大学院大学長倉研究奨励賞が設けられています。

### 2 申請資格

次のいずれかに該当する者であって、既に業績を挙げつつある研究、又は現在遂行中の研究で特に将来性のある研究を行っていること。ただし、研究の分野は問いません。

① 本学の在学生等（〈注〉参照）で、平成29年9月に修了見込みである者

② 本学の在学生等（〈注〉参照）で、平成30年3月に修了見込みである者

〈注〉「早期修了見込者」及び「本学に所定の修業年限以上在学し、所定の単位数以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、退学した者で、各研究科の申し合わせ等により学位規則第3条第1項の該当者として取り扱われるもの」も含まれます。

### 3 審査方法及び審査基準

各専攻長から推薦された受賞候補者の中から、次の審査を経て、学長が受賞者を決定します。

審査においては本学の教育目標である「高い専門性」と「広い視野」、併せて「他の専門分野の人にも理解できる発表力」（プレゼンテーション能力を含む。）が、重要な評価基準であることに留意して下さい。

なお、2次審査及び3次審査の審査方法及び主な審査基準の観点等は、以下のとおりとなります。

1次審査：各研究科で2名以内を選考します。

2次審査：書類により総合研究大学院大学研究賞受賞候補者（長倉研究奨励賞候補者を含む）を選考します。【長倉研究奨励賞選考委員会】

・研究内容及び達成度に重点が置かれます。

3次審査：オーラルプレゼンテーション（発表20分）及びポスタープレゼンテーションにより長倉研究奨励賞受賞候補者を選考します。また、審査は公開します。発表言語は日本語もしくは英語とします。

【長倉研究奨励賞選考委員会】

・高い専門性、広い視野、他の専門分野の人にも理解できるプレゼンテーション能力に重点が置かれます。

〈注〉3次審査のオーラルプレゼンテーション及びポスタープレゼンテーションは、研究発表会として教員や学生に公開することにより各専攻における研究の相互理解に資するため、平成30年9月の学位記授与式前日の平成30年9月27日（木）に実施する予定です。

3次審査でのプレゼンテーションは必ず参加してください。なお、候補者に

は旅費を支給します。

#### 4 授賞

授賞数は、総合研究大学院大学研究賞は6名程度、長倉研究奨励賞は2名程度とします。それぞれの受賞者には賞状を授与し、長倉研究奨励賞受賞者には賞金30万円を贈呈します。

授賞式は平成30年9月28日（金）の学位記授与式当日に行う予定です。

#### 5 応募方法

各専攻で定められた期限までに、以下の応募書類を、所属する専攻長に提出してください。

##### (1) 応募期限（葉山本部）

申請資格①に該当する者：平成29年9月22日（金）まで

申請資格②に該当する者：平成30年3月23日（金）まで

##### (2) 応募書類

1	申請書【様式1】 …1部（紙媒体）
2	次のア～ウを収録したCD-R（W） …1枚 ア. 長倉研究奨励賞受賞候補者研究内容調書【様式2】 イ. 学位論文，学会誌等に投稿した論文の主なもの …3本以内 ウ. 採録決定通知等（該当者のみ）
3	推薦書（指導教員又は申請者の研究業績について適切な評価ができる者が作成し厳封すること。様式自由。） …1部（紙媒体）

<注1> 2のア～ウについては、すべて電子データ（PDFファイル）化して、CD-R（W）に収録してください。紙媒体での提出は認めません。

<注2> 学会誌等に投稿した論文について、当該論文が採録決定済みであるが掲載前である場合には、採録決定通知等をスキャニング等により電子データ（PDFファイル）化して提出してください。また、採録決定前でも提出可能ですが、この場合、採録が決定次第、学務課学生厚生係へ速やかに連絡するとともに、採録された場合には採録決定通知等をE-mailにより追加提出してください。

#### 6 その他

(1) 応募に必要な申請書及び添付書類等の様式は、本学ホームページにも掲載します。なお、提出された申請書類は返却しません。

(2) 申請者の方は、修了後の連絡先（E-mail等）をお知らせください。